

1990 (平成 2) 年度 事業報告書

(財) 滋賀県水産振興協会

1999年3月

1 放流事業

栽培漁業センターの整備が進み、今年度から陸上池の種苗生産は栽培漁業センターで、親魚養成、採卵は水産試験場で行った。前年度と同様に初期保育施設を使用し、ニゴロブナ、ホンモロコともふ化仔魚を中心とした放流を行った。陸上池では稚魚の種苗生産を継続して行った。

温水魚増殖対策検討会を開催し、オオクチバス、ブルーギルが急増した現状ではふ化仔魚以外に稚魚体型での放流を行う必要があること、ALCなどの標識を施し効果調査を行うことなどの検討結果が出された。

1.1 ニゴロブナ

1.1.1 親魚養成

表1に結果を示した。

表1: ニゴロブナ親魚養成結果

年級	飼育水槽	飼育期間	収容		取上		歩留り (%)	備考
			尾数 (尾)	重量 (Kg)	尾数 (尾)	重量 (Kg)		
0+	100m ² × 1面	'90/6/18 ~ '90/10/20	33,000	4	18,000	98	55	
1+	100m ² × 2面	'89/10-11月 ~ '91/4月	56,600	158	46,000	500	81	
2+	100m ² × 1面	'89/11/27 ~ '90/9/21	12,300	200	11,500	391	93	
3+	100m ² × 1面	'89/11/24 ~ '90/9/17	2,700	187	2,600	261	96	
4+	100m ² × 2面	'89/10/12 ~ '91/4/19	10,200	651	10,000	1,064	98	
5+	200m ² × 1面	'89/10/4 ~ '91/4/20	8,100	778	9,900	1,213	122	
合計	900m ²		122,900	1,978	98,000	3,527	80	
前年比	121%		75%	119%	81%	168%	105%	

1.1.2 採卵、ふ化

表2に結果を示した。ふ化仔魚20,720千尾(前年比165%)を生産した。

1.1.3 種苗生産

栽培漁業センター陸上水槽、湖上網生簀で種苗生産を行い、全長11.5mm、910千尾(前年比194%)を生産した。

栽培漁業センター 今年度より栽培漁業センターで種苗生産を行った。表3に結果を示した。全長18.1mm、66千尾(前年比55%)を生産した。33

表 2: ニゴロブナふ化仔魚生産結果

区分	飼育水槽	親魚		ふ化仔魚 生産尾数 (千尾)	1尾あたりの ふ化仔魚数 (尾)	備考
		尾数 (尾)	重量 (Kg)			
2+	100m ² × 1 面	12,300	200	320	52	
3+	100m ² × 1 面	2,700	187	960	711	
4+	100m ² × 2 面	10,200	651	8,145	1,597	
5+	200m ² × 1 面	8,100	778	11,295	2,789	
合計	600m ²	33,300	1,816	20,720	1,244	
前年比	175%	159%	120%	165%	104%	

2+、3+ は栽培センターで飼育、採卵

表 3: ニゴロブナ陸上池種苗生産結果

No.	飼育水槽	飼育期間 (平均飼育日数)	収容 尾数 (千尾)	取上		歩留 (%)	備考
				尾数 (千尾)	全長 (mm)		
1	屋内陸上池 50m ² × 0.8m × 1 面	'90/5/2 ~ 6/18(47)	94	66	18.1	70	
前年比	63%	96%	55%	55%	83%	101%	

千尾を親魚養成に、33 千尾を雄琴地先に放流した。

湖上網生簀 表 4 に結果を示した。全長 11.0mm、844 千尾を生産した。ゾウミジンコをい集できた雄琴地先ではやや体型が小さいものの歩留りが高かった。長命寺の 92 千尾、海老江の 3 千尾、西の湖の 33 千尾を中間育成に供し、残りを放流した。

1.1.4 中間育成

種苗生産終了後、長命寺、海老江で中間育成を実施した。表 5 に結果を示した。湖上網生簀の種苗生産で得られた稚魚は、その後の中間育成では比較的高い歩留りを残した。また、前年度に引き続き、湖上網生簀での中間育成を漁連に委託した。なお、漁連に委託した中間育成は今年度で終了した。

1.1.5 放流

表 6 に結果を示した。

表 4: ニゴロブナ湖上綱生簀種苗生産結果

No.	飼育水槽	飼育期間 (平均飼育日数)	収容		取上		歩留 (%)	備考
			尾数 (千尾)	全長 (mm)	尾数 (千尾)	全長 (mm)		
1 雄琴	6.3m ² × 1.0m × 6 張	'90/4/27~7/24(20)	996		316	9.6	32	
2 長命寺	6.3m ² × 1.0m × 15 張	'90/5/17~7/19(18)	2,310		492	11.8	21	
3 海老江	6.3m ² × 1.0m × 2 張	'90/6/13~7/13(30)	420		3	11.6	1	
4 西の湖	6.3m ² × 1.0m × 2 張	'90/6/24~7/17(23)	336		33	12.4	10	*1
合計	158m ²	(20)	4,062		844	11.0	21	
前年比	229%	111%	256%		242%	107%	95%	

*1 母貝組合委託分

表 5: ニゴロブナ中間育成結果

場所	飼育規模	飼育期間 (日数)	収容		取上		歩留り (%)	備考
			尾数 (千尾)	全長 (mm)	尾数 (千尾)	全長 (mm)		
守山	16m ² × 3.5m × 2 張	'90/7/3~8/2(30)	60	-	58	52.5	97	
沖島	16m ² × 3.5m × 3 張	'90/7/4~8/3(30)	90	-	76	48.2	84	
長命寺	6.3m ² × 1.0m × 4 張	'90/6/30~8/6(31)	23	13.6	16	23.6	70	
海老江	6.3m ² × 1.0m × 2 張	'90/7/13~8/23(41)	3	11.6	2	39.4	67	
西の湖	64m ² × 1.0m × 2 張	'90/7/17~11/7(113)	65	12.6	7	70.4	11	
"	6.3m ² × 1.0m × 6 張	'90/7/12~11/7(113)	37	13.2	7	62.1	19	
合計	284m ²	(66)	278	-	166	48.7	60	
前年比	222%	120%	156%	-	139%	98%	90%	

守山、沖島は漁連委託分

表 6: ニゴロブナ放流結果

放流群	放流日	場所	尾数	全長	備考
			(千尾)	(mm)	
ふ化仔魚	'90/4 - 7月	雄琴初期保育施設	5,895	6	
	'90/4 - 7月	長命寺初期保育施設	8,235	6	
	'90/4 - 7月	海老江初期保育施設	2,340	6	
	合計		16,470	6	
1~2cm 稚魚	'90/5/17~7/24	雄琴初期保育施設	316	9.6	筏生産分
	'90/6/18	"	33	18.1	栽培センター生産分
	'90/6/8~8/6	長命寺初期保育施設	400	11.8	筏生産分
	合計		749	11.1	
2~6cm 稚魚	'90/8/3	守山地先	58	52.5	漁連委託分
	'90/8/4	沖島地先	76	48.2	"
	'90/6/8~8/6	長命寺初期保育施設	16	23.6	筏生産分
	'90/8/23	海老江初期保育施設	2	39.4	"
	合計		152	47.1	
秋稚魚	'90/11/7	西の湖	14	66.3	母貝組合委託分
大型魚	'90/6/21	彦根市八坂町地先	13	77.1	協会親魚候補、1才魚
	'90/6/25	西の湖	4	86.7	"
	'90/6/26	彦根市八坂町地先	14	70.5	"
	合計		31	75.4	

表 7: ホンモロコ親魚養成結果

年級	飼育水槽	飼育期間	収容		取上		歩留り (%)	備考
			尾数 (尾)	重量 (Kg)	尾数 (尾)	重量 (Kg)		
0+	100m ² × 3面	'90/6/27 ~ '91/10/9	318,800	36	5,200	42	2	
1+	40m ² × 6面 43m ² × 1面	'89/6-7月 ~ '91/3/14	324,000	17	6,100	41	2	
2+	43m ² × 2面	'89/3/30 ~ '90/6/28	6,000	9	1,500	11	25	
その他	43m ² × 1面	'89/7/12 ~ '90/6/28	7,500	43	2,500	20	33	*1
天然魚	50m ² × 1面	- - ~ '90/9/4	- -	- -	740	6	-	*2
上記継続	50m ² × 1面	'90/6/28 ~ '91/3/8	4,740	37	870	9	18	*3
合計	762m ²		656,300	105	12,170	92	2	
前年比	105%		350%	19%	124%	207%	40%	

*1 1+ ~ 5+, 天然魚

*2 エリより購入

*3 「2+」, 「その他」, 「天然魚」の合計を継続飼育

表 8: ホンモロコふ化仔魚生産結果

年級	飼育水槽	親魚		ふ化仔魚 生産尾数 (千尾)	1尾当りの 生産尾数 (尾)	備考
		尾数 (尾)	重量 (Kg)			
1+	40m ² × 6面 43m ² × 1面	324,000	17	113	1	
2m ²	43m ² × 1面	6,000	9	1,140	380	
2+ 以上	43m ² × 1面	7,500	43	656	175	天然魚を含む
合計	369m ²	337,500	69	1,909	11	
前年比	99%	442%	120%	47%	10%	

1.2 ホンモロコ

1.2.1 親魚養成

表 7 に結果を示した。

1.2.2 採卵、ふ化

表 8 に結果を示した。

1.2.3 種苗生産

栽培漁業センター陸上水槽、湖上網生簀で全長 19.9mm、382 千尾（前年比 83%）を生産した。

表 9: ホンモロコ種苗生産結果

No.	飼育規模	飼育期間 (平均飼育日数)	収容		取上		歩留 (%)	備考
			尾数 (千尾)	全長 (mm)	尾数 (千尾)	全長 (mm)		
1	50m ² × 0.5m × 5面	'90/5/9 ~ 8/29(46)	498	22.1	318	22.1	64	屋内水槽
前年比	156%	115%	64%	130%	98%	130%	156%	

表 10: ホンモロコ湖上網生簀種苗生産結果

区分	飼育規模	飼育期間 (平均飼育日数)	収容		取上		歩留 (%)	備考
			尾数 (千尾)	全長 (mm)	尾数 (千尾)	全長 (mm)		
1 雄琴	6.3m ² × 1.0m × 2張	'90/5/21 ~ 6/26(16)	292	8.9	64	8.9	22	
前年比	50%	89%	20%	100%	47%	100%	244%	

*1 ふ化仔魚の輸送中の斃死が多かった。

栽培漁業センター 表9に結果を示した。今年度より栽培漁業センターで種苗生産を行った。全長 22.1mm、318 千尾（前年比 98%）を生産した。

湖上網生簀 ニゴロブナと同様の方法で種苗生産を行った。表 10 に結果を示した。雄琴地先で実施し、全長 8.9mm、64 千尾（前年比 47%）を生産した。ニゴロブナと比べ、生産成績は悪かった。琵琶湖で夜間電照して集できるゾウミジンコ、ケンミジンコでは初期餌料として不適で、ホンモロコをふ化仔魚から湖上網生簀で種苗生産を行うのは問題が多いと思われる。

1.2.4 中間育成

前年度に引き続き、湖上網生簀での中間育成を漁連に委託した。表 11 に結果を示した。なお、漁連に委託した中間育成は今年度で終了した。

表 11: ホンモロコ中間育成結果

場所	飼育規模	飼育期間 (日数)	収容		取上		歩留り (%)
			尾数 (千尾)	全長 (mm)	尾数 (千尾)	全長 (mm)	
守山	16m ² × 3.5m × 1張	'90/7/3 ~ 8/2(30)	50	-	45	41.4	90
沖島	16m ² × 3.5m × 2張	'90/7/4 ~ 8/3(30)	95	-	87	47.9	92
合計	48m ²	(30)	145		132	45.7	91
前年比	60%	97%	58%		80%	121%	138%

表 12: ホンモロコ放流結果

放流群	放流日	場所	尾数 (千尾)	全長 (mm)	備考
1cm 稚魚	'90/6 月	雄琴初期保育施設	64	8.9	筏生産分
4cm 稚魚	'90/8/2	守山地先	45	41.4	漁連委託分
	'90/8/7	沖島地先	87	47.9	"
	合計		132	45.7	

1.2.5 ホンモロコ放流

表 12 に結果を示した。今年度はふ化仔魚放流は行わなかった。

2 その他

2.1 委託

2.1.1 沿整増殖場施設管理点検事業（受託事業）

県が沿岸漁場整備開発事業により設置した 8ヶ所の増殖場施設の有効利用と事故防止を図るため、定期的な管理点検を県の委託を受けて、地元漁協に業務委託した。

2.1.2 ニゴロブナ・ホンモロコ保護水面管理事業（受託事業）

ニゴロブナ、ホンモロコの産卵、繁殖場を守るため、湖北町地先の保護水面地域内の監視、清掃等を県の委託を受けて、地元の朝日漁協に業務委託した。

2.1.3 初期保育施設管理運営事業

初期保育施設の管理点検、運営を地元漁協に委託し、ニゴロブナ、ホンモロコの全長 10～20mm サイズ稚魚の生産（ホンモロコは、大津漁協のみ実施）を行った。

2.1.4 温水魚増殖対策事業

前年度に引き続き、湖中での中間育成による放流試験を、県漁連に委託して守山、沖島漁協で行い、平成 3 年 3 月に「平成 2 年度 温水魚増殖対策中間育成受託実験事業の実績報告書」を受けた。また、前年度に引き続

き、内湖での種苗生産放流技術の確立のための調査、実験を母貝組合に委託して西の湖で実施し、平成3年1月に「平成2年度 温水魚資源増殖対策実験調査結果報告書」を受けた。

2.1.5 貝類増殖対策事業

琵琶湖特産のセタシジミが近年著しく減産しているため、関係者による研究会を毎年開催しているが、本年度は、県水産試験場主催の「二枚貝の活力評価に関する講演会」に参加し、セタシジミ等琵琶湖の貝類について学習した。また、県漁連が実施しているセタシジミの増殖対策事業に助成した。実施結果は、以下の通りである。

二枚貝の活力評価に関する講演会（県水産試験場主催）

日時	平成2年8月23日
場所	水産試験場
出席者	水産課、水試、協会の各職員
内容	「二枚貝の活力を何で評価するか」 水産大学校増殖学科 網尾 勝 教授

セタシジミ増殖対策事業

協会助成額	1,000,000 円
事業の概要	（親貝放流）
期間	平成2年4月～平成3年3月
場所	彦根市松原地先沖合
放流量	1,404kg（平均体重 3.1g）
個数	309,000 個
放流面積	水産試験場が設置した試験水域（50,000 m^2 ） の一部（100m × 100m）

2.2 研修

2.2.1 現地研修

豊かな海づくり大会に参加した。

日時	平成2年7月22日
場所	青森県三沢市

派遣人数 県職員、漁連職員、協会役職員等、25名

2.2.2 技術研修

放流魚の放流効果判定方法の調査、研修のために職員を派遣した。

日裁協上浦事業場、大分県水産試験場

日時 平成3年2月22日～23日

場所 大分県南海部郡上浦町

派遣人数 水試および協会職員、3名

つくり育てる漁業について、県水産試験場が開催した講演会に参加した。

場所 滋賀県水産試験場

日時 平成2年11月9日

内容 「“とる漁業”から“つくり育てる漁業”にむけて」
日裁協専務理事 本間 昭郎 氏

また、次の研修会に協会職員を参加させた。

全振協主催 中央講習会（静岡県修善寺市）

同 現地研修会（愛知県幡豆町）

水産庁主催 栽培漁業瀬戸内海ブロック会議（和歌山県田辺市）

同 平成2年度 栽培漁業事業化促進事業実績報告会（長崎県長崎市）

県漁青連主催 先進地技術研修旅行（福井県福井市）

2.3 各種検討会

2.3.1 栽培漁業センター建設委員会

前年度に引き続き、「栽培漁業センター建設委員会」を開催し、審議等が行われた。委員会の実施状況は以下の通りである。

回	開催日	場所	検討内容
第6回	'90/8/9	栽培漁業センター	栽培漁業センターの建設について
第7回	'90/9/27	栽培漁業センター	同上
第8回	'90/11/22	栽培漁業センター	同上

2.3.2 温水魚増殖対策検討会

今年度完成した栽培漁業センターの本格的な稼動が来年度から始まるが、昭和60年度の基本計画策定当時と比べて、ブラックバス、ブルーギル等の食害魚の増加など、琵琶湖の環境も様変わりし、また、飼育技術も向上しているため、再度ニゴロブナの効果のある種苗生産放流方法等、栽培漁業のあり方について審議、検討するために「温水魚増殖対策検討会」を設置し、平成3年3月に温水魚増殖対策検討結果報告書「ふやそう!! ニゴロブナ・ホンモロコ」を作成した。検討会の実施状況は以下の通りである。

検討会構成 水産課、水試、漁連、協会職員、14名

回	開催日	場所	検討事項
第1回	'90/6/29	水試	温水魚増殖対策検討会について 年間スケジュールと進め方 第2回に向けての資料作成 今後の試験、調査について
第2回	'90/7/26	水試	種苗生産および放流体型、方法について 中間育成について 今後の試験、調査について
第3回	'90/8/20	水試	第1回、第2回のまとめについて フナ、モロコの種苗生産方法、必要施設、経費について
第4回	'90/11/20	栽培漁業センター	温水魚増殖に係る検討結果について 同上施設整備計画等について 今後の試験、調査について
第5回	'91/3/12	栽培漁業センター	平成2年度における検討事項のまとめについて 今後の試験、調査について

2.3.3 水産増殖事業協議会

県漁連主催の協議会に出席し、水産資源の維持、増大について意見の交換をした。

日時 平成3年2月26日
場所 漁連水産会館

出席者 漁連、水産課、水試、醒井、協会の各職員
協議事項 平成2年度 水産増殖事業実施報告について
平成3年度 水産増殖事業実施計画（案）について

2.4 普及事業

2.4.1 情報提供事業（水振協ニュース）

栽培漁業センターの完成を記念して、特集版を発行（3,000部）し、漁業者や漁業協同組合等に配布した。

（主な内容）

第12号（平成3年3月）

琵琶湖栽培漁業センターの完成

漁獲統計

2.4.2 湖国農林水産まつり

前年に引き続き、県内の農林水産業の発展と普及を願い「湖国農林水産まつり」が開催された。協会も各水産団体と共にこれに参画し、つくり育てる漁業をアピールした。

開催日 平成2年10月20日～21日

場所 大津市皇子が丘公園周辺